

『社会を明るくするためには』

小城市立芦刈観瀾中学校 8年2組 山川^{やまかわ} 怜斗^{れんと}

僕は昔から自殺や殺人、事故、いじめなどのニュースを耳にしてきました。

小さいころから絶えることのない悲しいニュースを聞いてきました。ですが僕はそれをあまり気にせず軽く聞き流していました。でも突然家族や友達が亡くなったらなど考えると少し不安です。なので僕はこの世から悲しい事件や事故がなくなることを願っています。僕はそんな殺人や自殺がなくなるように自分にはどのようなことができるか考えました。

まず殺人についてです。殺人では最近のニュースを見ているとニュースを軽く聞き流している僕も驚くようなことがありました。それは安倍元首相が殺された事件です。僕はそれを聞いて安倍さんが僕たち国民に最善をつくしてやってくれたことを振り返ってみました。パツとは思いうかばないけど何事もない日々を影ながら支えてくれていたのは安倍さんなのではないかと思いました。例えば新型コロナウイルスが流行しだしたとき国民を第一に考えた政策をとってくださいました。営業時間の短縮、学校の臨時休校、支援金やマスクの配布、それ以外にも色々な対策をとってくださいました。それもとても忙しい普段の仕事をこなしながらこのような政策をしてくださったのです。僕にはとうていできない偉人の業だと思いました。このような大きな問題があるたびに安倍さんは国民を守るために色々なことをしてくださいました。そのようなことを考えると僕は安倍さんに色々なことをしてもらったんだな

と思いました。僕は考え方の違いですぐに怒らずその人の立場になって考えることが殺人をなくす第一歩だと思っています。

次に自殺についてです。自殺はいじめやストレスから自ら命をたってしまう人が多いと思います。僕は友達が自殺をしたと、もし聞いた時は殺人よりも悲しいです。自分にはもっとできることがあったのではないか、なぜ気付いてあげられなかったのかなと自分を責めてしまうかもしれません。僕はそのような思いを絶対にしたくないので自殺は減らしたいです。僕は自殺は殺人になることもあるんじゃないかと思いました。例えばいじめによる自殺だといじめた人が加害者で自殺させるまで追いこんだ殺人犯だと思いました。だから自殺を減らすためにはいじめをなくすのが一番だと思います。でもそれは不可能に近いんじゃないかと思います。なので僕たちにできるのはその友達に寄り添ってあげることだと思います。その人を味方することでいじめられるかもしれないけど僕はその人に寄り添ってあげない僕もその人を殺してしまうかもしれない、そう思うと僕はやっぱりその人に寄り添ってあげたいと思いました。ぜひみなさんも困っている人がいたら相談してあげてください。それをするによって救える命があるかもしれません。

僕は社会を明るくするためになにができるかを考え深めることができたのでよかったです。今日考えたことを実行できるようにしたいです。この考えをみんなに広げ少しでも幸せな生活ができるように努力していきたいなと思いました。